

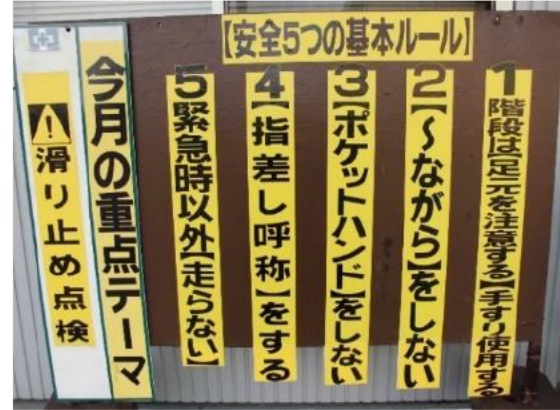
注意ポイントの見える化①

●階段昇降時の注意表示



●構内通行時の注意表示

大型表示で正門で構内入門者(従業員、外来者)に禁止事項を伝える



●フォークリフト運行時の注意表示

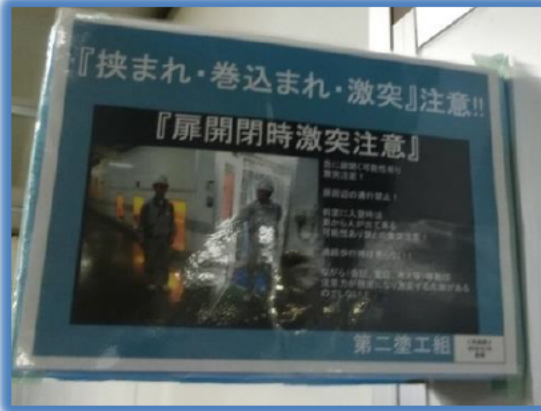
建屋出入口、交差点など走行に注意を要する箇所に表示



注意ポイントの見える化②

●作業のワンポイント表示

注意を要する作業は、現地に写真でポイントを表示



●置き方の注意表示

モノの正しい置き方を写真で示し、所定のモノが所定の置き方で置かれていることを確認する



モノの置場の見える化①

●置き場の区画

区画線で、作業エリア・通路・置き場を分ける



区画線で、置き場を固定する



モノの置場の見える化②

●工具置場

工具は形跡管理・姿置きでチョイ置き防止



●副資材・備品置場

必要なモノが必ず補充される仕組みで作業を安定化



バルブ開閉・配管の流れの見える化

●バルブ開閉表示

ひと目でわかる開閉表示で誤操作防止



●ユーティリティ配管の流れ表示



その他の取り組み①

●設備の状態表示

稼働状態表示で設備の異常を早期発見



●ロックアウト鍵管理

鍵を一元管理し、修理、点検中の操作ミスを防止



その他の取り組み②(自作の安全体感機)



PPバンドによる
切傷体験



炭酸飲料で残圧に
よる飛散を体験



感電しない復帰
操作の確認

●体験事例



扉に手を挟みその衝撃を体験する

- ・クッション材を手に付けて扉に手を挟んでみる。
- ・扉開閉作業のルール遵守の重要性を認識する。